

**DATA：歯科・口腔外科**

- 施設認定：日本口腔外科学会認定研修施設、日本歯科麻酔学会認定病院、日本口腔科学会認定研修施設、日本口腔診断学会認定研修機関、日本老年歯科医学会認定研修機関、顎顔面インプラント学会認定准研修施設、ジャパンオーラルヘルス学会登録施設
- 主な対象疾患：口腔外科全般、オーラルメディスン（口腔内科）、特殊な管理を要する方の歯科一般（障がい者歯科、有病者歯科）、顎変形症、顎顔面補綴、摂食・嚥下リハビリテーション、デンタルインプラント、閉塞性睡眠時無呼吸



◀診療科HP

多様なニーズに対応する治療体制

当院の歯科・口腔外科には、口腔腫瘍外科学講座に39名、オーラルメディスン・病院歯科学講座に20名の歯科医師が在籍しており、私はオーラルメディスン・病院歯科学講座の教授をしています。歯科・口腔外科外来には、常時歯科医師が約25名、看護師5名、歯科技工士1名、歯科衛生士14名が勤務しています。歯科衛生士は外来及び周術期（入院前、入院中、退院後）の患者さんの口腔ケアを主に担っています。

1日の外来患者数は曜日にもよりますが、初診は1日30～35名、再診は約150名ほどになります。現在、有病者・障がい者の方への歯科治療にも力を入れており、歯科疾患以外の基礎疾患や障がいを持った患者さんで、歯科治療を行うにあたり特別な管理を要とする方を対象としています。

有病者歯科では、高血圧、狭心症、心筋梗塞、呼吸器疾患、糖尿病、肝臓疾患、腎臓疾患などの慢性疾患がある患者さんを対象とし、障がい者歯科では視覚障害、聴覚障害、運動障害など身体的な障害のほか、知的障害、自閉スペクトラム症、注意欠陥・多動性障害などの発達障害、脳性麻痺、てんかん、

特別な管理を要する患者さんへの歯科治療を提供

うつ病、統合失調症などの神経精神疾患、ダウン症候群などの先天性遺伝子疾患などをお持ちの患者さんを対象としています。

歯科治療に不安や恐怖を抱かれる方は少なくありませんが、特に有病者や障がい者の方では、歯科治療に伴う緊張やストレスによって容態が不安定になったり、原疾患が増悪するなど危険な状態になるケースもあります。このように特別な配慮が必要な患者さんの場合、通常、血圧計や心電図、パルスオキシメーターなどによる全身管理や静脈内鎮静法、全身麻酔を用いた管理下で治療を行います。また、お身体の状況に合わせて当院の医師による診察を受けて頂くなど、医科診療科の協力を常に得られる体制を整えていますので、より安全で安心な歯科医療の提供が可能となっています。

設備面でも、このほど完成した歯科外来棟では、高齢者や車いすの方でも支障なく来院頂けるバリアフリー設計としました。診察ブースも患者さんのプライバシー保護に考慮し、ゆとりのある広さで、仕切りも他者の視線が気にならない高さにするなど工夫をしています。治療の際のデンタルチェアは、これまで足を置くステップにつまずく患者さんが多くいらったことから、ステップのないものを導入しました。また、日本で数少ない口腔がんセンターが歯科外来棟の新設に伴い、施設内に併設されたことも大きな特徴になっています。

まだご不便な点もあるかと思いますが、より安全で質の高い歯科医療の提供を目指して参ります。

日帰り全身麻酔や静脈内鎮静法も

当院では、集中的な歯科治療が必要な場合や侵襲が大きな治療が必要な場合は、患者さんの全身状態



定期的な学術的交流や講習会を実施

歯科・口腔外科

に合わせて、日帰りの全身麻酔や静脈内鎮静法下での治療を行っています。

外来で行われる日帰りの全身麻酔は、親知らずの抜歯を始めとする口腔外科の小手術や、一度に多くの治療が必要となる有病者や障がい者の歯科治療などが対象となります。全身麻酔での治療については、患者さんやご家族にも理解しやすいように、周術期外来で歯科麻酔医による治療内容や手術の流れを解説したDVDを見て頂くなど、丁寧でわかりやすい説明をするよう心がけています。

一方、静脈内鎮静法は、有病者の歯科治療による緊張やストレスを緩和し、全身状態を安定させたいとき、治療中の体動が激しい患者さんの行動を制御したいとき、また歯科治療に対して極度の恐怖心があるため、歯科治療が困難な患者さんの不安軽減をはかりたいときなどが適応となります。

当院には、歯科麻酔の認定医や専門医が複数名在籍していますので、安心・安全な歯科麻酔管理のもと、歯科治療が行える体制が整っています。

地域の後方支援病院として

市川市・浦安市の歯科医師会とは、日頃より診療における密な連携を取らせて頂き、定期的な学術的交流を始め、新しい情報の交換や歯科治療中の緊急時対応のための医療安全講習会など、引き続き協力して東葛南部地域の歯科医療に貢献していければと思っております。



日帰り全身麻酔ができる手術室

また、地域の先生方には、当院の医師とより深い相互理解を得ることを目的とした「市川リレーションシップカンファレンス」を通じて、基礎疾患と口腔のかかわりなどを紹介していきたいと思っておりますので、ぜひご参加ください。

有病者や障がい者などの特別な管理を要する患者さんについては、これまでも地域の先生方が日々診療されてきたと思いますが、全身状態の悪化などで通常の歯科治療が困難な患者さんがいらつしゃいましたら、ぜひ当院へご相談頂ければと思います。これからも総合病院の歯科として、医科歯科連携を充実させながら、患者さんの安全・安心を第一に、地域の後方支援病院としての役割を果たしていきたいと思っております。

Dr's profile



Nobuyuki Matsuura

松浦 信幸 歯科医師



出身地

北海道北見市

趣味

ドライブ、映画鑑賞



スポーツ歴

野球、サッカー、テニス、スキー



歯科医師になつたきっかけ

アメリカの大学へ留学した際、障がい者がごく当たり前に生活している環境と文化に感銘を受け、日本には古くから障がい者歯科があり、自分も貢献したいと思った

好きな言葉

ありがとう（日常の診察の中で、「ありがとう」の持つ力を実感）

【掲載写真について】 感染症対策を行ったうえ、撮影時のみマスクを外しております。

医療機関の先生方へ

市川総合病院 初診事前予約申込書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者さんのご紹介などを円滑に行えるように、「地域医療連携室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

患者支援センター地域医療連携室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)